

日本大学大学院商学研究科博士前期課程入学試験出題意図

各試験科目の出題意図は、以下のとおりである。

記

1 外国語（英語）

① 第1問

高度な専門性や特殊な知識ではなく、経済・経営分野に関する広く一般的な理解を評価することを目的として、英文の読解力及び内容理解を問う。

② 第2問

高度な専門性や特殊な知識ではなく、商学・経営学・会計学分野に関する広く一般的な理解を評価することを目的として、英文の読解力及び内容理解を問う。

2 外国語（日本語）

① 第1問

経済・経営に関する新聞記事等を基に、日本語の読解力、内容理解、並びに論理的な文章を作成するための運用力を問う。

② 第2問

特定の研究分野の専門家のみに通ずるような高度な専門性や特殊な知識、あるいは高度な予備知識を前提とする科学論や研究方法論ではなく、当該分野及びそれに関連する広く一般的な事柄に対する理解と表現力を評価することを目的として、日本語の読解力及び内容理解を問う。

3 専門科目

第1問及び第2問

当該分野及びそれに関連する広く一般的な事柄に対する理解と表現力を評価することを目的として、学部卒業時点での修得が想定される、専門分野の基本的な概念及び理論に関する内容の理解を問う。

以 上